

マフラク・セメント工場建設事業



本事業により建設されたセメント工場

借款概要

承諾額/実行額	22,070百万円 / 22,068百万円
借款契約調印	1988年11月
借款契約条件	金利1.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1997年12月

事業概要

同国のセメント需要の増加に対処するため、同国第2の都市タイズの西方に位置するマフラクに、同国で豊富に算出する石灰石を利用したセメント一貫プラントを建設するもの。

評価結果

本工場の操業当初、セメントの生産量は機器の故障等により一時計画値を下回っていたものの、その後順調に増加し、1999年には計画値を上回る546千トン/年を達成し、また、過去3年間の稼働率は80%超を維持している。

本工場で生産されたセメントは、国内における消費量の約4分の1を占めており、セメント需給ギャップを補填すると共に、1998年には約24.7百万ドルの外貨を節約する効果を上げる等、同国の国際収支改善に貢献したといえる。

本工場の生産量は年々向上しているものの、実施機関であるイエメン・セメント公社が所有する他工場に比べ、電力料金等コストが高く収益性が低い。かかる問題に対しては、援助効果促進調査(SAPS)を通じて、今後の対応策につき支援を行っている。